

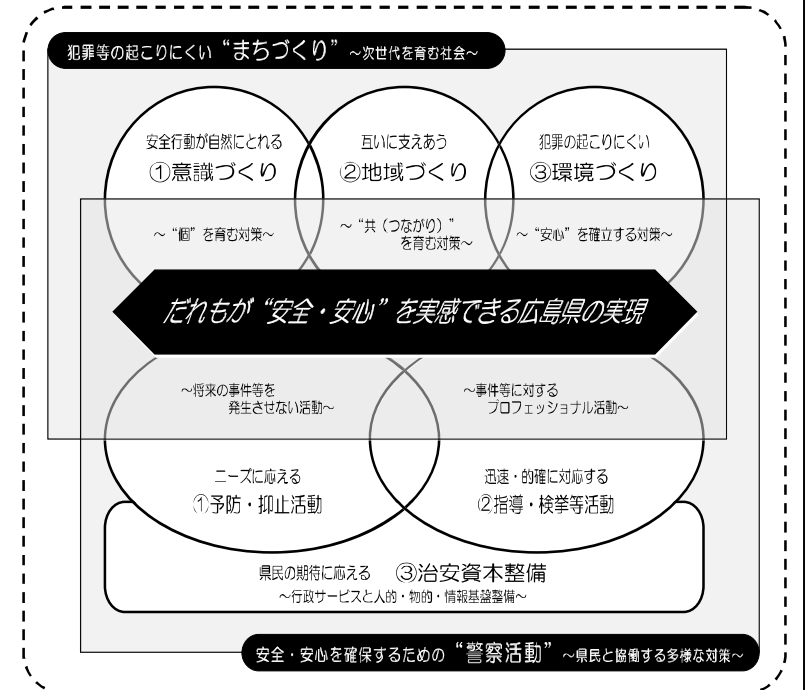
「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の今後の展開について

本年までの「減らそう犯罪」運動の成果と課題

- 方針**
 防犯，安全に対する県民・事業者・市町等への“意識づくり”
 犯罪の起こりにくいまちづくりを実現するための“自主防犯活動の推進”
 街頭活動等，“集中・重点化した警察活動”の展開
- 成果**
様々な自主活動の芽生え
 県民による防犯ボランティア団体の結成数の増加（条例制定前の10倍以上）
 市町における安全まちづくり担当部門等の設置の広がり
多様な主体の協働による犯罪抑止
 推進会議で決定した犯罪抑制目標（3年で30%減）の達成見込み
 （平成17年10月末現在で，36.8%減）
- 課題**
県民の不安は依然高水準
 「減らそう犯罪」県民アンケートの結果，約80%の県民が「治安に不安を感じる」と回答
不安要因
 県内における殺人事件，けん銃発砲事件等凶悪事件の発生
 全国における女性や子どもを狙った事件の続発
 世界的にテロリズムが現実となりつつある脅威

平成18年からの「減らそう犯罪」運動の展開方針（案） ～定着と発展に向けて～

- 運動目標**
 だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現
- 行動目標（犯罪抑制目標）**
 今後5年でピーク時の半減を目指す
- 方向性**
 きめ細かい安全・安心なまちづくりを実現するための“地域づくり”の促進
 県民・事業者等の更なる参画促進による“芽生えた自主活動の定着・発展化”
 減少傾向を持続させ，県民に“安心をもたらす警察活動”の展開



平成17年中の国の動向

安全・安心なまちづくり全国展開プラン
 （H17.6 犯罪対策閣僚会議）
 住民参加型の安全・安心まちづくり全国展開
 住まいと子どもの安全確保
 健全で魅力あふれる繁華街・歓楽街の再生

都市再生プロジェクト「防犯対策等とまちづくりの連携協働による都市の安全・安心の再構築」
 （H17.6 都市再生本部）
 大都市等の魅力ある繁華街の再生
 全国の多様な主体の連携によるトータルな安全・安心まちづくり

世界一安全・安心なまちの再生
モデル的な取組の全国的実施

安全・安心ステーション
 学校安全体制の整備
 全国都市再生モデル調査事業
 繁華街・歓楽街のモデル的取組

4 事業体系 ～県民等と協働する“まちづくり”と“警察活動”の両輪～

犯罪の起こりにくい安全なまちづくりの推進

安全行動が自然にとれる“意識づくり”
 意識啓発，情報発信，情報ネットワークの構築等

互いに支えあう“地域づくり”
 自主活動，市町の取組支援，子ども等を守る取組等

犯罪の起こりにくい“環境づくり”
 安全な公共空間等の整備促進，繁華街・歓楽街再生等

更なる
 県民，事業者，
 NPO，行政，
 警察の役割
 分担と協働

安全・安心を確保するための警察活動の展開

ニーズに応える“予防・抑止活動”
 身近な犯罪，少年犯罪，凶悪犯罪等の予防・抑止対策

迅速・的確に対応する
 “指導・検挙等活動”
 専門的能力を発揮した捜査活動，行政指導・処分等

県民の期待に応える“治安資本整備”
 人的・物的・情報基盤の整備等